



## ごあいさつ

桜の季節も終わり、本当に暖かくなりました。春は花粉も収まりつつあるのですが、私は杉、ひのき、稲、とあらゆる花粉がダメなので秋までずっと花粉と戦う事になります…特効薬が早く開発される事を祈るのみですね。さて、このQ-infoですが、読者の皆様から多くの声をお寄せいただき嬉しく思っています。添付している「リプライシート」でのご意見のみならず、弊社代表にも『いつも読んでますよ』とお声掛け下さっていると。皆様からの励ましの声エネルギーの源です。頑張っ参りますのでよろしくご支援下さい。

倉橋 勇樹

## 連載企画 “一丁啞” が行く！ 第4回：インストールは慎重に

WindowsVISTAと共に登場した、『Microsoft Office 2007』。見た目が今までのExcelやWordとかなり違っているということは前回書きました。もちろん、見た目が変わっただけではなく、いろいろと機能的な改良なども施されている訳ですが、その2007を使うかどうかは慎重に考えた方がいいでしょう。

Office2003を使っていたある男、社内の他のPCに導入された2007を見て『なんやねん！これは！全然使い勝手が違うやんか！こりゃ、当分、今までのExcelでええわ』と思ったところまでは良かった。ところがその男、Outlook2007を見たんですね。ExcelやWordと異なり、いま使っているOutlook2003と画面はほとんど変わらず、しかもいくつかの不満点も解消されている。『画面が全く変わってしまって使いにくいWordなんかを使うつもりはないけど、Outlook2007は使ってみよう。だからExcel2007やWord2007はインストールせず、Outlook2007だけインストールしよう』と。『これはグッドアイデアだ！』と勝手に思いこんでインストール作業に突入！“インストールは慎重に”という鉄則を無視し、次々と画面のメッセージに従って作業を進めるうちに『あっ！』と。気がつけばOffice2007をすべてインストールするという事で作業が進行しているのではないですか。途中で止めるどころかことはないと思いきや1時間近くかかってなんとかOffice2007のインストールが完了。渋々、使いにくいWordやExcelを使うことにしたもののWindowsVISTA上での運用を想定しているOffice2007は大きなメモリーを必要とします。VISTAを動作させるのに最低必要とされる1GB以上のメモリーを搭載していない彼のPC(ちなみにメモリーは500MB)ではExcelもWordも動作時間が極端に遅くてまったく使い物にならないことに…かくして、快適な環境に戻すための彼の苦悩の1週間が始まったのです。



## パソコンが壊れる前兆を知る

当たり前の事ですがパソコンは電化製品ですので経年の劣化により壊れます。ハードディスクは毎分5000回転以上の高速回転しており、パソコンを熱から守るファンもパソコンが起動中はずっと駆動しておりますので最も壊れやすい部分です。メモリーなど直接稼働しない部分は素人にはなかなかわかりにくいものですが、今申し上げた“直接稼働している部品”が物理的に壊れる場合、前兆がある場合も多くあります。少なくとも「おかしい！」と感じたら何らかの対策をされる事をおすすめします。

## STEP 1 ハードディスクの異変（大切なデータを保存する金属のディスク）

ハードディスクから「キー」と擦るような音や「カチカチカチ」と高い音が聞こえたり回転音が不安定になっていたら要注意で、放置すると高確率で壊れます。ハードディスクが壊れてしまうとエクセルやメールのデータデジカメの写真などあらゆるデータを失ってしまう事になりますので、「おかしい！」と思ったらすぐにバックアップをとることをお勧めします。

## STEP 2 CPUや電源の放熱ファンの異変（扇風機みたいなやつ）

またファンがすぐにフル回転になったり（扇風機の【強】のような状態）、うるさかったりすると埃などがたまって、うまく熱を逃がせていない可能性があります。ほとんどのメーカー品のパソコンであれば安全装置がついておりファンが回らなくなったり熱がこもると自動的にシャットダウンするように作られています。一部の海外メーカーのパソコンや自作パソコン等の場合は安全装置がない場合があります。そうすると熱がこもり、CPUやマザーボードなど様々な部品を破壊する可能性があります。ファンが止まる場合は異音をするのではなく、無音なので気付きにくく要注意です。

## STEP 3 パソコンの動作異常に注意を払う

- ・最近パソコンの動作が急激に遅くなった。（故障以外にウイルス感染の可能性もあります）
- ・OKを押せば大丈夫なだけで意味不明なエラーが頻繁にでる。
- ・勝手にシャットダウンされたり再起動されたりする。

これらの症状が出るようなら高確率で、近い将来ダメになります。その備えとしてのバックアップの話はまた後日にしますが、コンピュータは生き物ではなく家電製品ですので、一度悪くなったものが改善する事はまずありません。簡単なアドバイスくらいなら我々にでもできますので放置だけはしないようにしましょう！

裏面もあります!!



ホームページは <http://www.sysport.co.jp> または【シスポート】で検索!!!

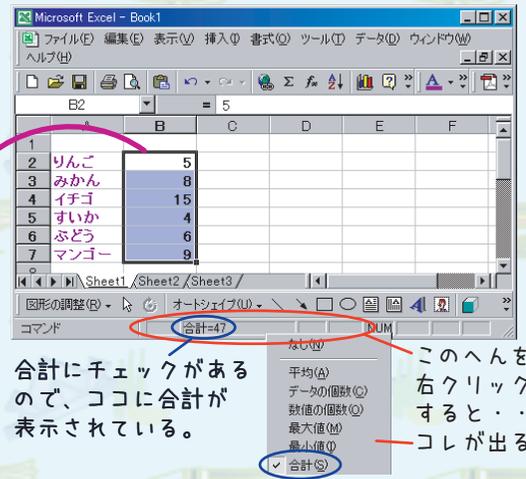
# 特集 Excel豆知識!

この先、ExcelやWordの便利な使用法などをちょくちょく書く事になるかと思いますが、あまり難しい事は書かず「簡単だけど意外に知らない」ネタを書くように心がけますのでよろしくおねがいします。

## No1 データの個数や数量合計、平均などを簡単に知る

データの個数を計算したり、合計や平均を求めるにはオートサムを使ったり・・・はたまた電卓を叩いたり?? 確認するだけならすっごく簡単なんですよ!

右の図のように確認したいデータをマウスで囲うと下の方に【合計=47】と表示されます。また合計が表示されている辺りを右クリックしてデータ個数や平均を表示する事も簡単にできます!



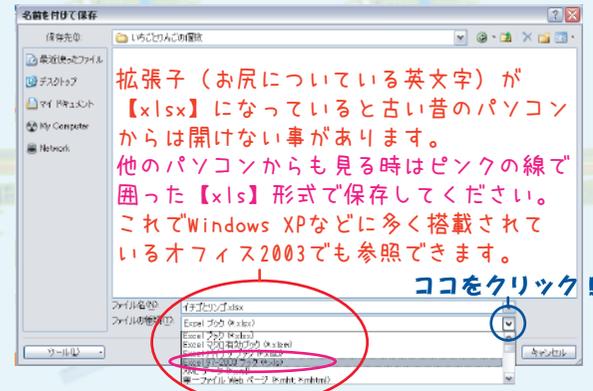
見たい所をマウスで囲うだけ!!  
とっても簡単だけど以外に知られていない。  
そんなネタでした♪

合計にチェックがあるので、ココに合計が表示されている。  
このへんを右クリックすると・・・コレが出る

## No2 新しいエクセルやワードの保存形式の落とし穴

Windows Vistaのパソコンなどを買うと搭載されている最新版のオフィス2007。見た目もガラリと変わっていますが、実は保存形式も変わっており注意しないと今までのオフィス2003などでは開けなくなってしまいます。Vistaで作ったファイルをXPなどでも参照する必要がある場合は

Excelの場合は【xlsx】ではなく【xls】  
Wordの場合は【docx】ではなく【doc】  
で保存すると参照することができます。



拡張子 (お尻についている英文字) が【xlsx】になっていると古い昔のパソコンからは開けない事があります。他のパソコンからも見る時はピンクの線で囲った【xls】形式で保存してください。これでWindows XPなどに多く搭載されているオフィス2003でも参照できます。

ココをクリック!

# わかりやすい! 難しい用語を使わない! T講座 Vol.3 インターネット回線の種類について

昨今、ある事が当たり前になってきましたインターネット。インターネットのアイコンをクリックすればつながりますし後はカチカチしていれば何となくNEWSを見たり、色々調べたり、オークションに参加したりと使う事ができます。しかし「どういったしくみでインターネットがつながっているか?」という話をしますと実は非常に複雑でややこしい理屈になってしまいます。そこで今回はインターネット回線の種類についてのみ、いつも通り大雑把に書いてみます。

インターネット回線の種類は大きく分けて  
●アナログ回線 ●ISDN回線 ●ADSL回線 ●光回線、ケーブルテレビ等の専用回線の4つに分類する事ができます。アナログ回線とISDN回線は通信速度が非常に遅く、通信料金も電話通話料が発生する為に他の常時接続の回線に比べて割高であったりと、最近ではほとんど使われる事はありません。アナログ回線しかなかった頃はISDN回線の登場に「すごい技術だ!」と驚いたものですが今となっては双方とも“過去の接続方法”と捉えていただいて問題ないと思います。未だにこれらの回線を使用されている方は少し見直した方が良いかもしれませんね。

次に日本にITブームを到来させたADSL (DSL回線) です。このADSL回線以降は月額料金を支払う事によって常時接続が可能になった為にコストが低くなり、通信速度も従来の数倍~数十倍に跳ね上がりました。このADSLでYahoo!や楽天などIT企業は一躍大手企業に進化しましたし、私たち一般的なユーザーにもパソコンやインターネットが爆発的に普及しました。まさにADSLさまざまです。しかし、電話回線を利用して通信する都合上、回線自体がアナログ回線である為に、通信がやや不安定であったりと問題点も少なくありませんでした。

そこで登場したのが光回線に代表される、専用回線を用いたインターネットです。ケーブルテレビに例外はありますが、これらは総じてADSLと比較した場合、速度が速く通信が安定しているにも関わらず通信料金はADSLと大差がない等、良い事づくしである為に現在のインターネット回線のスタンダードになりつつあります。実は、業務で使用する上ではこの“通信が安定している”というのは非常に重要で、光回線を用いた拠点間のデータベースの一元管理の実現などに大きく貢献しています。これはSYSPORTの販売管理ソフトでも使用している技術で、新幹線の切符をどこの駅で購入しても「同じ席に二人予約されてしまった!」なんて事にならない理由も、まさに通信が安定している光回線を用いたデータベースの一元管理だからこそ出来る技術なのです。要約しますと“機会があれば光回線にしていましょう”という事に尽きますね(笑) 光の次は衛星からのマイクロ波を用いた超高速の無線通信が来るらしいのですがまだまだ先の事でしようし、今から光でも遅くありませんよ!!

【発信元】 **シスポート株式会社**  
〒610-0361 京都府京田辺市河原平田23-16  
TEL (0774)-63-1131 FAX (0774)-63-1130  
e-mail info@sysport.co.jp  
HomePage http://www.sysport.co.jp